

株式会社城南進学研究社 第41期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
おかげ様で、当社は本年9月16日に設立40周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様
の温かいご支援とお力添えの賜物と、心から深く感謝申し上げます。
さて、当社は第41期の中間期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）を終了いたしましたの
で、その概要についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に収まり経済活動が正常化に向
かいつつあるものの、円安の進行やロシアのウクライナ侵攻による原材料やエネルギー価格の高騰により、
インフレ懸念が高まるなど、先行きはより一層不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、少子化に伴う学齢人口の減少が続く中、長引くコロナ禍において、オンライン教育の拡大、デジタル教材のニーズの高まり、入試制度
の多様化など様々な環境の変化への対応が求められています。

このような状況の中、当社グループは、「生徒第一主義」の基本理念のもと、総合教育ソリューション企
業として、「たくましい知性、しなやかな感性を育む能力開発のLeading company」を目指してまいりま
した。8月には、株式会社学研ホールディングスと業務提携契約を締結し、新たなサービス・商品を開発、
様々な教育ニーズの対応への強化を進めております。

また、グループ会社である株式会社リトルランドを10月1日付で合併するなど、幼少教育事業のさらなる
展開を加速していくための体制作りも行っております。

個別指導部門では、「城南コベッツ」が継続生の減少や受験学年の減少による単価の減少などで売上高は
予想を下回って推移しており、カリキュラムの強化や教室運営の効率化を引き続き行っております。映像授
業部門では、「河合塾マナビス」は、通期においては前年を上回る売上高となる見込みですが、コロナ禍で
制限されていた学校行事の再開による欠席の増加等により、対予想値をわずかに下回る動きとなりました。

幼少教育部門では、算数教室「りんご塾」が生徒数を伸ばし、育脳教室「くぼたのうけん」や児童英語教室
「ズー・フォニックス・アカデミー」につきましても売上高増を見込んでおります。保育園を運営している
株式会社城南ナーサリー及び株式会社城南フェアリーは予想を上回る売上高で推移しております。オン
ライン学習教材「デキタス」は引き続き自治体・学

校教育機関・学習塾等、販売先を拡大しており、ほぼ予算とおりの売上高となっております。また、スポ
ーツ部門を担う株式会社久ヶ原スポーツクラブでは、夏期にコロナの影響で一部会員数の伸び悩みも見られま
したが、安定した会員数を確保し、売上高は増加しております。

株主の皆様におかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



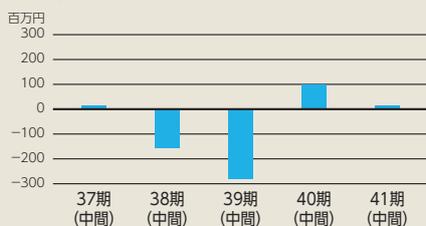
代表取締役社長CEO
下村 勝己

Financial Highlights 連結財務ハイライト

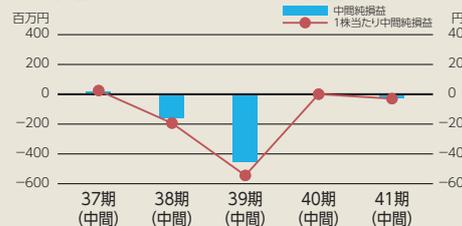
売上高



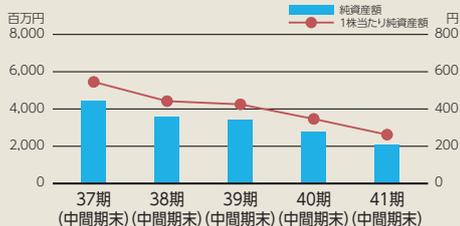
経常損益



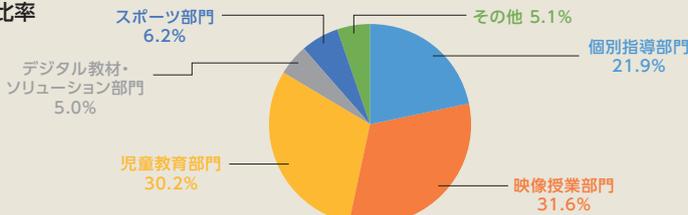
中間純損益及び1株当たり中間純損益



純資産額及び1株当たり純資産額



部門別売上高比率



企業ビジョンの実現に向けて

～能力開発のLeading Companyへ～

株式会社城南進学研究社は、1961年4月、大学受験、高校補習のための総合予備校として城南予備校を川崎に設立したところから歴史は始まります。

それから半世紀以上、総合教育ソリューション事業を積極的に展開してまいりました。

さまざまな取り組みの中、私たちは乳幼児期をはじめ、あらゆる世代における「能力開発」が重要であると考え、「脳科学」をベースにブランド展開をしております。

単に成績を上げるための勉強や受験のための勉強にとどまらず、生徒の皆様が一生涯学び続ける力を身につけ、そして活躍し続ける人生を送るための教育メソッドを提供し続けることで、当社は総合教育ソリューション企業として、「たくましい知性、しなやかな感性を育む能力開発のLeading Company」となることを目指してまいります。



	乳幼児	小学生	中学生	高校生	高卒生	大学生	社会人
本 社	城南コベッツ	●	●	●	●		
	城南医志塾				●	●	
	城南推薦塾				●		
	くぼたのうけん	●					
	ズー・フォニックス・アカデミー	●	●				
	放課後ホームステイ E-CAMP		●				
	城南ルミナ保育園	●					
	りんご塾	●	●				
	デキタス		●	●			
	河合塾マナビス				●		
グ ル ー プ 会 社	株式会社久ヶ原スポーツクラブ	●	●	●	●	●	●
	株式会社城南ナーサリー	●					
	株式会社城南フェアリー	●					
	Cheer plus株式会社	●	●				
	株式会社城南KIDS		●				
	株式会社リンゴ・エル・エル・シー				●	●	●
	株式会社アイベック			●	●	●	●
	株式会社イオマガジン						●

NEWS & TOPICS

デジタル庁の「教育関連データのデータ連携の実現に向けた実証調査研究」に採択

学校における校務負担の軽減や効果的な教育内外の分野間のデータ連携を目的に、オンライン学習教材「デキタス」を用いた学習eポータルとのデータ連携の実装に取り組みます。

現在、小中学校では、GIGAスクール構想によって生徒1人1台端末の整備や教職員端末の整備、学校におけるネットワーク環境の改善等が進められています。しかし、教育データの利活用環境が整っていないため、校務負担の軽減や効果的な教育内外の分野間のデータ連携が十分に進められていないことが課題となっていました。そこでデジタル庁は、小中学校における校務支援システム・学習支援システム・関連する教育アプリとの間の教育データ連携の実証研究を行うこととなり、本実証事業に参加を希望する事業者を公募しました。このたび当社は、「学習支援アプリ」に関わる事業者として採択されましたので、オンライン学習教材「デキタス」を活用し、学習eポータルとのデータ連携の実装に取り組んでまいります。



学研ホールディングスとの業務提携

多様な教育コンテンツのコラボレーションによる新たな商品・サービスを開発し、様々な教育ニーズにお応えして参ります。

当社は、8月26日株式会社学研ホールディングスとの間において締結した本業務提携において、教室・学習塾の連携や、英語学習コンテンツ・サービスの共同開発、学習アセスメントの共同開発・普及、幼児を対象とした教育サービスの連携、社会人を対象とした新教育サービスの開発・普及に関して、両社で取り組んでいくことに合意しました。

現在、両社で業務提携委員会を設置し、具体的な検討を行っております。互いの強みをいかしながら、教室・学習塾事業に限らず、未就学から社会人を対象に教育事業における新たな商品・サービスの開発を目指してまいります。

Gakken × **城南進学研究社**

「りんご塾」の積極的展開

算数オリンピック入賞を目標に掲げ、算数に特化した授業を展開している「りんご塾」の事業拡大を続けます。

算数オリンピックは、小学生・中学生以下の子どもを対象とする算数と数学のイベントですが、「りんご塾」はその算数オリンピック入賞を目標に掲げ、算数に特化して授業を展開している塾です。2022年度は、キッズBEE部門（小1～小3対象）において、金メダル5名受賞、他14名もメダルを受賞いたしました。今期は首都圏に18校開校し、現在全27校となっております。今後におきましても、単独の教室のみならず個別指導教室である「城南コベッツ」に併設するなど、積極的な事業拡大を続けてまいります。



主な教場 (2022年9月30日現在)

■ 河合塾 マナビス 東京都 7校舎 神奈川県 6校舎 埼玉県 4校舎 千葉県 3校舎 群馬県 1校舎 新潟県 2校舎	■ 城南医志塾 神奈川県 1校舎	東京都 1教室 埼玉県 1教室	埼玉県 2校舎 千葉県 1校舎 その他 3校舎
■ 城南コベッツ (直営・フランチャイズ) 関東 197教室 東北・北海道 4教室 中部 18教室 近畿 9教室 中国 1教室 九州・沖縄 10教室	■ くぼたのうけん 東京都 11教室 神奈川県 3教室 千葉県 2教室 茨城県 1教室	■ 城南ルミナ保育園 東京都 1園	■ 久ヶ原スイミングクラブ 東京都 1校舎
	■ りんご塾 東京都 14校舎 神奈川県 10校舎 埼玉県 2校舎 千葉県 1校舎	■ サニーキッズ・インターナショナルアカデミー 東京都 1校舎	■ LINGO L.L.C. 東京都 1校舎
	■ 放課後ホームステイ E-CAMP	■ 城南Kids After School 神奈川県 6校舎	■ 星のおうち他 東京都 1園 神奈川県 1園 千葉県 6園
		■ ズー・フォニックス・アカデミー (直営・フランチャイズ) 東京都 6校舎 神奈川県 1校舎	■ ふえありい保育園 埼玉県 14園

※「城南ブレインパーク」は、くぼたのうけん等と重複する場合がありますため、教室数は記載いたしません。

Corporate Data (2022年9月30日現在)

<p>商号 株式会社城南進学研究社 (JOHNNAN ACADEMIC PREPARATORY INSTITUTE, INC.)</p> <p>設立 昭和57年(1982年)9月16日</p> <p>資本金 655百万円</p> <p>従業員数(連結) 391名(講師、契約社員等の臨時雇用者は含みません。)</p> <p>本社所在地 神奈川県川崎市川崎区駅前本町22番地2</p> <p>主な事業内容 学習塾、その他各種教室の経営 フランチャイズチェーンシステムによる学習塾等の募集及び経営指導 大学、高校及び中学受験用教材の企画、製作、販売 能力開発、保育に関する事業 スイミングスクール及びスポーツジムの運営</p>	<p>役員</p> <p>代表取締役社長 CEO 下村勝己</p> <p>専務取締役執行役員 COO 千島克哉</p> <p>常務取締役執行役員 CFO 杉山幸広</p> <p>取締役(常勤監査等委員) 柴田里美</p> <p>社外取締役(監査等委員) 西村泰夫</p> <p>社外取締役(監査等委員) 阿曾友淳</p> <p>執行役員 CBO 飯塚健二</p> <p>執行役員 CAO 服部和佳子</p>
---	--

Stock Information (2022年9月30日現在)

- 発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 33,000,000株
- 発行済株式の総数・・ 8,091,533株(自己株式846,307株を除く)
- 株主数・・・・・・・・・・・・・・・・ 11,584名

大株主一覧

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社シモムラ	2,690,000	33.2
下村 勝己	1,157,000	14.3
下村 友里	379,000	4.6
山崎 杏里	379,000	4.6
深堀 和子	320,000	3.9
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	280,000	3.4
小川 由晃	220,000	2.7
株式会社みずほ銀行	192,000	2.3
株式会社進学学会ホールディングス金庫口	185,400	2.2
深堀 雄一郎	120,000	1.4
深堀 泰弘	120,000	1.4

(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式846,307株を保有しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当支払株主確定日 毎年3月31日
 中間配当支払株主確定日 毎年9月30日
 定時株主総会の基準日 毎年3月31日
 (そのほか臨時に必要あるときは、あらかじめご告知いたします。)

公告方法 電子公告
<https://www.johnan.co.jp/ir/notification.html>
 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

株主名簿管理人 / 事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-8507
 電話お問い合わせ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL. 0120-288-324

単元株式数 100株
 証券コード 4720

※株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い
 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主さまは、お取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

「オレンジリボン運動」支援企業として登録

このたび、当社グループは10月25日、オレンジリボン運動(NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク)支援企業として登録されました。「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

当社グループは、教育格差の解消に貢献すべく、多くの自治体、学校、企業に、教育サービスを提供しており、支援学校・学級や不登校の児童生徒などにもご利用いただいております。その過程でオレンジリボンの活動を知ることになり、支援企業となることを決定いたしました。未来を担う子どもたちのために、教育企業としてお役に立ちたいと考えております。

当社グループは主に0歳～高校生(一部大学生・社会人)を対象とした教育・保育事業を展開しており、グループ全体で100近い拠点を構えております。その各拠点において、お客様を始めとした関係者へのお声掛けを中心に、建物入口付近にポスターを掲示したり、社員がオレンジリボンストラップを使用することなどを通じて、広く同運動の活動を周知してまいります。また、グループ内に留まらず、自治体、学校、企業ともタイアップをして、拠点外での啓発活動についても積極的に行ってまいります。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動